SONY_®

デジタル		準備 4ページ~	
ビデオカセ	ット	基本 7ページ~	
	\mathbf{H}	応用 15ページ~	
取扱説明書 ぉ買い上げいただきぁりがとうごる	ざいます。	 編集 29ページ~	
※警告 この取扱説明書には、事故を防ぐれ 項と製品の取り扱いかたを示してい	の注意事項を守らない なることがあります。 ための重要な注意事 います。この取扱説	 設定を 変える 45ページ~	
明書と別冊の「安全のために」をよ 品を安全にお使いください。お読 いつでも見られるところに必ず保管	:くお読みのうえ、製 みになったあとは、 管してください。	その他 52ページ~	
		 検索する 68ページ~	
		D IES	
Digital 8	WÎDEO K Walkman		
GV-D200			

© 2002 Sony Corporation

お使いになる前に

本機はDigital8(デジタルエイト ♪)方式のデジタルビデオカセット レコーダーです。

HIB/→マークのついたHi8(ハイエイト)/Digital8(デジタルエイト)テープを使用します。録画方式はDigital8(デジタルエイト) 方式になります。また、本機は、他機で撮影したHi8(ハイエイト) HIB方式、またはスタンダード8ミリ日方式の画像を再生すること ができます。よりよいつなぎ撮りのために、これらの方式と Digital8(デジタルエイト)か方式で記録した映像を同一テープに混 在させないことをおすすめします。

また、本取扱説明書に記載された再生機能には、Digital8(デジタ ルエイト ♪う方式で撮影された映像にのみ有効なものがありますの で、ご了承ください。

ためし録画

必ず事前にためし録画をし、正常に録画・録音されていることを確 認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカセットレコーダーやテープなどの不具合により記録や 再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償について は、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほか は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本書内の写真について 映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実 際に見えるものとは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環 境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテ レビジョン受信機に近接して使用されると、電波妨害を引き起こ すことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてく ださい。

準備

準備1	テレビにつなぐ	4
準備 2	電源を準備する	5
準備 3	カセットを入れる	6

基本

再生する		 	7
ビデオやテレビから録画する	3	 	13

応用

再生している画像を拡大する	
- 再生ズーム	15
画像に特殊効果を加えて見る	
- ピクチャーエフェクト	16
特殊な演出を加えて見る	
- デジタルエフェクト	18
見たい場面にすばやく戻す	
- ゼロセットメモリー	20
録画・撮影日の変わり目を探す	
- 日付サーチ	21
見たい静止画を探す	
- フォトサーチ / フォトスキャン	22
日付データ / カメラデータなどの	
表示を出す - 画面表示機能	24
タイトルを入れる	25
オリジナルタイトルを入れる	27

編集

他のビデオヘダビングする
必要な場面を選びダビングする
- デジタルプログラムエディット 31
アナログ機器とパソコンをつなげて使う
- デジタル変換機能42
録画したテープに
新しく画像を挿入する43

設定を変える

メニューでお買い上げ時の	
設定を変える	45
日付・時刻を合わせ直す	50

その他

別売りバッテリーを使う	2
Digital8(デジタルエイト ╊┣方式と	
記録・再生5	5
i.LINK(アイリンク)について5	6
故障かな?と思ったら 5	7
自己診断表示 - アルファベットで始まる	
表示が出たら6	0
警告表示とお知らせメッセージ	1
海外で使う6	3
お手入れ	4
主な仕様	6
保証書とアフターサービス	7

検索する

各部のなまえ6	8
索引	1

用

編 集

準

備

検索する

準備1 テレビにつなぐ

付属のAV接続ケーブルで本機とテレビをつなぐと、録画したテープをテレビ画面で見ることができます。

接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

テレビの入力を切り換える



別売りのS映像ケーブルを使 うと

再生画像がより忠実に再現で きます。テレビにS(S1)映 像端子がついているときは、 AV接続ケーブルの黄色いプ ラグ(映像)のかわりに別売 りのS映像ケーブルで、本機 のS1映像出力端子とテレビ のS(S1)映像端子を接続す ることをおすすめします。 すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力(ライン)」にして ください。

音声入力端子がひとつ(モノラル)のテレビにつ なぐとき

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白 いプラグを音声入力へつなぐ。(本機側も赤いプラグは接続 不要です。) 音声はモノラルです。

映像 / 音声入力端子のないテレビにつなぐとき

別売りのRFUアダプター(NTSC方式)でつなぐ。 テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。音声は モノラルです。

準備2 電源を準備する



ご注意

- ACパワーアダプターは、 お手近なコンセントを使用 してください。本機をご使 用中に不具合が生じたとき は、すぐにコンセントから ブラグを抜き、電源を遮断 してください。
- 電源コードを引っぱらない ようにしてください。プラ グがコンセントから抜ける ことがあります。
- 本機をACパワーアダプ ターに近づけすぎないでく ださい。画面にノイズが出 ることがあります。
- バッテリーをつけたままで もお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとパッテリーから電源は供給されません。

屋外では

バッテリーを使います(52 ページ)。

自動車の電源では 別売りのカーバッテリーアダ

パン・ファーでお使いになれます。 詳しくはカーバッテリーアダ プターの取扱説明書をご覧く ださい。

ACパワーアダプターを本機のDC IN端子に つなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラ グの▲マークを右にしてつなぐ。

2 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。



電源コードをコンセントにつなぐ。

準備

準備3 カセットを入れる

<image>

ご注意

- カセットぶたが開いている ときに、カセット入れに指 を入れたり中を触ったりし ないでください。故障の原 因になります。
- 本機での録画方式はデジタ ルエイト方式です。
- 本機での録画時間はSP
 モードでHi8テープに表示してある時間の半分、LP
 モードで3/4になります。
- スタンダード8ミリテープ を使用して本機で録画した 場合、本機以外(他のGV-D200を含む)での再生時 にモザイク状のノイズが現 れることがあります。

間違って消さないために カセットの背にある誤消去防 止ツマミを横にずらし「赤」 にします。



1 電源を準備する(5ページ)。

2 カセット取出し→つまみの青のボタンを押しながら、矢印の方向へずらす。 カセット入れが自動的に開く。

3 テープ窓を上側にして入れる。

④ 囲マークを押して、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順③で取り出す。



ご注意

外国製のビデオソフトの中に は、カラーテレビ方式が異な るため本機では再生できない ものがあります。

画面表示について

- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面で画面表示を見ることができます。
- 画面表示を出すには画面表 示ボタンを押します。
 消すときは、もう一度押し ます。

1 本機をテレビにつなぐ(4ページ)。

- 2 電源を準備して、再生したいカセットを入れる(5~6ページ)。
- 3 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを 「入」にする。 本体前面の電源 / 充電ランプが 点灯する。
 ● 再生ボタンを押す。 再生が始まる。

再生を止める

■停止ボタンを押す。

基本

ご注意

変速再生中は

- Digital8[)方式以外で記録 したテープで変速再生する とノイズが出ます。
- Digital8

 か守着の中である。
- 再生方式の自動判別を行い ません。
- 一時停止(静止画)について
- ・ 3分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度□>再生ボタンを押します。
- 前の画像が残ることがあります。

Digital8€う方式のスロー再生 について 本機にはスロー画像をなめら かに再生する機能がありま す。ただし┇DV入力/出力 端子から出力される信号には この機能は働きません。

逆方向再生について 画面の上下や中央に横縞が入 ることがありますが、故障で はありません。

ヘッドホンで音を聞くには ヘッドホン(別売り)を ((ヘッドホン)端子につな ぎます。音量+/-ボタンで 音量調節ができます。

いろいろな再生

電源スイッチを「入」にしたときに操作します。

静止画を見る

[再生中]に■一時停止ボタンを押す。一時停止ランプ(オレンジ)が点 灯する。

▷ 再生ボタンまたは
■ 一時停止ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中]に▶▶早送リボタンを押す。 ▷▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中]に◀◀巻戻しボタンを押す。 ▷ 再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する

[再生中] に◀Ⅱ <ボタンを押す。 ▷ 再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り / 巻き戻しする(ピクチャーサーチ) [再生中]に▶▶早送り / ◀◀巻戻しボタンを押し続ける。 離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る(高速アクセス) [早送り中]に▶▶早送りボタン、または[巻き戻し中]に◀◀巻戻しボタ ンを押し続ける。 離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る [再生中]に▶スローボタンを押す。 逆方向にスロー再生するときは、≪II <ボタンを押してから▶>スロー

ボタンを押す。 □ 再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る(倍速再生)

[再生中]に×2ボタンを押す。 逆方向に倍速再生するときは、◀Ⅱ ≪ボタンを押してから×2ボタンを 押す。 ▶ 再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見る

[再生一時停止中]に> II▶コマ送り(+)ボタンを押す。 逆方向にコマ送りするときは、◀II <コマ送り(-)ボタンを押す。 ▷ 再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。 ステレオ放送や、二重音声放送を録画したテープ を再生する

二重音声放送を記録したテープを再生するときは、メニューの 「バイリンガル」を設定して、音声を選んでください。





ビデオ設定 ビグチャーエフェクト 図 パイリンガル 学 TBC ETC DNR P 音声ミックス 声・ケクス 再生モード A/V入力 DV出力 [メニュー]で終了

a

メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して「晒を選び、押 して決定する。

3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して「バイリンガ ル」を選び、押して決定する。



基

盂



ご注意

- 電源スイッチやカセットの 取り出しなどはリモコンで 操作できません。
- ダブルデッキやVHSビデ オカセットレコーダーのリ モコンでは操作できないこ とがあります。

リモコンで操作する

他のソニー製品に付属のリモコンで本機を操作できます。

メニューの「リモコン」で、お使いになるリモコンのリモコン コードを合わせてください(49ページ)。

リモコンコード	ソニー製品
VTR1	ベータマックスビデオカセットレコーダー
VTR2	8mmビデオカメラレコーダー デジタルビデオカメラレコーダー 8mmビデオカセットレコーダー
VTR3	VHSビデオカセットレコーダー
VTR4	デジタルビデオカセットレコーダー デジタルビデオカメラレコーダー
VTR5、VTR6	デジタルビデオカセットレコーダー

テレビの接続について 下記の接続のとき、ワイドTV モードで記録した画像を再生 すると、画像は自動的にフル モードに切り換わります。

- ビデオIDシステム(ID-1/ ID-2)方式対応のテレビと 接続したとき。
- テレビのS(S1)映像入力 端子に接続したとき。

ID-1方式とは ビデオ信号のすきまに信号を 加算することにより、画面の 縦横比(16:9、4:3またはレ ターポックス)の情報を通信

するシステムです。

ID-2方式とは

ID-1方式に加え著作権保護の ための信号をアナログ接続に おいて行うためのシステムで す。

S1映像信号とは 通常のS映像信号にワイド モード自動選択用の信号が加 算されています。

録画について ワイドTV信号を本機で録画す る場合は、本機で自動判別し て、ワイドTV録画します。

ワイドTV再生・記録

ソニーのデジタルビデオカメラでワイド撮影したテープは本機 でワイド再生することができます。ID-1/ID-2対応テレビに接 続した場合は自動的にテレビのワイドモードが切り換わりま す。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。



基

太

SUPER LASER AVLINK 別売りのAVコードレスIRレ シーバーIFT-R20との組み合 わせで最大距離が従来比*約 60%アップ、またノイズレ ベル約40%減を実現してい ます。

- * LASER AVLINK搭載ビデ オカメラとIFT-R10との組 み合わせ時
- ソニー製のテレビの場合は
- 電源について
 本機のSUPER LASER
 AVLINKボタンを押すと、
 自動的にテレビの電源が入ります。
 - あらかじめ下記の操作をし ておいてください。
 - ーテレビの主電源を入れ る。 ー本機のメニューで「オー
 - 本機のメニューで・オー トTVオン」を「入」にす る。
 - ー本機の赤外線発光部をテ レビのリモコン受光部に 向けておく。
- 入力について 本機のメニューで「オート TVオン」を「入」に設定 し、「TV入力切りかえ」を IRレシーバーをつないだテ レビの入力端子(ビデオ1/ 2/3)と同じに設定する と、テレビの入力も自動的 に切り換わります。(テレ ビによっては、切り換わる ときに一瞬画像や音声がと ぎれることがあります。)
- 機種によっては、操作できないことがあります。

本機の電源スイッチを「切」 にすると 自動的に解除されます。

SUPER LASER AVLINK を使うと バッテリーの使用時間が短く

なりますので、使わないとき はSUPER LASER AVLINK を解除しておいてください。

<u>Super</u>はソニー(株)の商標です。

ケーブルを使わずに見る - SUPER LASER AVLINK

別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおく と、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで 見られます。

詳しくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧くだ さい。



ACパワーアダプターなどの電源を付け、再生したいカセット を入れておいてください。

- テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシー バーの電源を入れる。
- 2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換 えスイッチを「ビデオ」にする。
- 3 本機の電源スイッチを「入」にする。
- SUPER LASER AVLINKボタンを押す。 ボタンのランプ(赤)が点灯する。
- 5 本機の▷ 再生ボタンを押す。 再生が始まる。
- 6 本機とIRレシーバーの向きを合わせる。

再生中の画像がき れいにテレビに写 るようにする。



SUPER LASER AVLINKを解除する SUPER LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを 消す。

ビデオやテレビから録画する

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。



ご注意

- よりよいつなぎ撮りのために、Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録した画像と、Digital81分式で記録した画像をひとつのテープに混在させないことをおすすめします。
- 再生側のビデオで早送りや スロー再生などを行うと、
 本機で録画中の画像が乱れ ることがあります。テープ
 を通常度で再生してください。

ビデオやテレビの音声出力端 子がひとつ(モノラル)の場合 AV接続ケーブルの黄色いブ ラグを映像出力へ、白いプラ グを音声出力へつなぎます。 (赤いブラグはどちらにもつ ながないでください。)音声 はモノラルです。

別売りのS映像ケーブルを使うと

録画画像がより忠実に再現で きます。ビデオやテレビにS (S1)映像端子がついている ときは、AV接続ケーブルの 黄色いプラグ(映像)のかわ りに別売りのS映像ケーブル で本機のS1映像入力端子と ビデオ、またはテレビの S(S1)映像端子を接続するこ とをおすすめします。

- カセットを準備する。
 本 機:電源を準備して、録画したいカセットを入れる。
 再生機:ビデオから録画するときは、録画済みのカセットを入れる。
- 2 本機の電源スイッチを「入」にする。
- 3 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにⅢ一時停止ボタン を押す。

O録画 → OII-時停止

- 4 再生側のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。
- 5 録画したい場面で本機のⅡ一時停止ボタンを 押して録画を始める。

録画が終わったら

本機で録画を停止し、再生側のビデオで再生を停止する。

蜝

木

i.LINKケーブルでつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル(別売り)でつなぎ、本機で録画・編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。



ご注意

本機と異なるi.LINK仕様の機 種では信号のやりとりができ ません。

i.LINKケーブルで本機と接続 できるのは1台だけです。

デジタルダビング編集中は モニター映像に色ムラが出る ことがありますが、ダビング された画像には影響はありま せん。

再生─時停止にしている画像は ▶ DV入力 / 出力端子を使っ てダビングすると粗い画像に なります。 また、本機で再生したとき画

像がぶれることがあります。

- カセットを準備する。
 本 機:電源を準備して、録画したいカセットを入れる。
 再生機:録画済みのカセットを入れる。
- 2 本機の電源スイッチを「入」にする。
- 3 本機を録画一時停止にする。
 ●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにⅡ一時停止ボタンを押す。



- 4 再生機で再生する。
- 5 録画したい場面で本機のⅡ一時停止ボタンを 押して録画を始める。

録画が終わったら

本機で録画を停止し、再生機で再生を停止する。

再生している画像を拡大する - 再生ズーム

再生しているテープの動画や静止画を拡大 することができます。

ご注意

- Digital8()方式以外で記録 したテープでは、再生ズー ムはできません。
- 外部入力している画像に再 生ズームを加えて見ること はできません。
- 再生ズームを加えた画像を 本機で録画することはでき ません。本機を再生機と し、他のビデオへ録画して ください。

再生ズームを加えた画像は ▶ DV入力 / 出力端子からは 出力されません。

再生ズーム中に以下の操作を すると再生ズームは自動的に 解除されます。

- 電源スイッチを「切」にする。
- 再生を停止する。
- メニューボタンを押す。
- タイトルボタンを押す。



[再生中]または[再生一時停止中]に
 再生ズームボタンを押す。
 画像の中心部が拡大され、

2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して拡大された画像を上下に動かし、押して決定する。





3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して拡大された画像を左右に動かし、押して決定する。

R#X-A (ダイヤルを下へ回す) (MRITCH (MRITCH) (MRITCH) (MRITCH) (MRITCH) (MRITCH) (ダイヤルを下へ回す) →: 画像が左に移動する。 (ダイヤルを下へ回す) (ダイヤルを上へ回す)

再生ズームを解除する

再生ズームボタンを押し、表示を消す。

応用

画像に特殊効果を加えて見る-ピクチャーエフェクト

再生しているテープの画像にデジタル処理を して、テレビや映画のような特殊効果を加え て見ることができます。



写真のネガフィルム のように



明暗をはっきりさせた イラストのように

セピア 古い写直のような色合いに

モノトーン 白黒に

ご注意

- Digital8
 →方式以外で記録 したテープに、ピクチャー エフェクトを加えて見るこ とはできません。
- 外部入力している画像にピ クチャーエフェクトを加え て見ることはできません。
- ピクチャーエフェクトを加 えた画像を本機で録画する ことはできません。本機を 再生機とし、他のビデオへ 録画してください。

ピクチャーエフェクトを加え た画像は

■DV入力/出力端子からは 出力されません。

電源スイッチを「切」にする か、再生を停止すると ピクチャーエフェクトは自動 的に解除されます。





2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して四を選び、押 して決定する。

ビデオ設定 VTB ビクチャーエフェクト 切 四 バイリンガル 应 TBC ETC DNR ₽ 前3 音声ミックス 再生モード ロシェビート A/V入力 DV出力 ⊋戻る 「メニュー]で終了







④ 選択 / 囲決定ダイヤルを回して希望のピク チャーエフェクトを選び、押して決定する。





ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選び決定する。

応用

特殊な演出を加えて見る - デジタルエフェクト



ご注意

- Digital&か式以外で記録したテーブに、デジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- 外部入力している画像にデ ジタルエフェクトを加えて 見ることはできません。
- デジタルエフェクトを加えた画像を本機で録画することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

デジタルエフェクトを加えた 画像は ■DV入力 / 出力端子からは出 力されません。

電源スイッチを「切」にする か、再生を停止すると デジタルエフェクトは自動的 に解除されます。





2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して希望のデジタ ルエフェクトを選ぶ。



3 選択 / 囲決定ダイヤルを押して決定する。 表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。 スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画とし て記憶される。

4 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、効果を調節 する。 調節する内容は以下の通り。 スチル 再生中の動画の背景にある静止画 の映り具合。 フラッシュ コマ送りの間隔。 ルミキー 静止画の、動画を取り込む部分の 明るさの度合い。

トレイル 残像が残る時間。

バー表示。大きくするほど効果が大きくなる。

デジタルエフェクトを解除する

スチル |||||||

デジタルエフェクトボタンを押し、表示を消す。

見たい場面にすばやく戻す-ゼロセットメモリー

テープカウンター値が「0:00:00」の地点ま で巻き戻しや早送りをして、自動的に停止 するようにできます。 ソニーのデジタルビデオカメラレコーダー

に付属のリモコンで操作できます。

デジタルビデオカメラレコーダーの取扱説 明書もあわせてご覧ください。



再生中に、後からもう一度見たいと 思う場面があったとき。

ご注意

- Digital8()方式以外で記録 したテープでは、ゼロセッ トメモリーはできません。
- 巻き戻す前にゼロセットメ モリーボタンをもう一度押 すと、ゼロセットメモリー が解除されます。
- タイムコードとテープカウ ンターに多少誤差が出るこ とがあります。
- テープの途中に無記録部分が あると ゼロセットメモリーが正しく 働かない場合があります。



- [再生中]に
 画面表示ボタンを押す。
- 2 後から見たい場面でリモコンのゼロセットメ モリーボタンを押す。 テープカウンター値が「0:00:00」になり、カウントを始める。

ゼロセットメモリー表示が点滅する。

- 3 再生し終わったら■停止ボタンを押す。
- 4 ◀◀巻戻しボタンを押す。

テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止 する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼ ロセットメモリー表示が消える。

5 ▶再生ボタンを押す。

テープカウンター値が 0:00:00」の場面からもう一度再 生される。

録画・撮影日の変わり目を探す - 日付サーチ



ご注意

- Digital8[)方式以外で記録
 したテープでは、日付サー チはできません。
- 日付や時刻を合わせない
 で、録画または撮影した
 テープでは、日付サーチは
 働きません。
- 日付の変更点の間隔は2分 以上必要です。間隔が短い と正しく検出されない場合 があります。

テープの途中に無記録部分が あると 日付サーチが正しく働かない ことがあります。





^{HII} ⁰⁰ ^{HII} ¹⁰ ^{HII} ¹

2 リモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押す。

日付をさかのぼるときは、I◀◀ボタンを、日付を進める ときは、▶▶Iボタンを押す。日付の変わり目で自動的に 再生が始まる。 ボタンを押した回数だけ前(I◀◀)または後ろ(▶▶I)の 場面が頭出しされる。

- サーチを止める
- 停止ボタンを押す。

甬

見たい静止画を探す - フォトサーチ / フォトスキャン

ソニーのデジタルビデオカメラレコーダーで テープフォト撮影した静止画を頭出しできま す(フォトサーチ)。

また、静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ 再生することもできます(フォトスキャン)。 ソニーのデジタルビデオカメラレコーダーに 付属のリモコンで操作できます。 デジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明 書もあわせてご覧ください。



ご注意

Digital8分方式以外で記録し たテープでは、フォトサーチ /フォトスキャンはできません。

テープの途中に無記録部分が あると フォトサーチ / フォトスキャ ンが正しく働かないことがあ ります。



静止画を探す - フォトサーチ

 リモコンのサーチ選択ボタンを押して、フォ トサーチを選ぶ。



2 リモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押す。

静止画が再生される。

ボタンを押した回数だけ前(◄◀)または後ろ(▶►)の 静止画が再生される。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。



フォトスキャンを止める

■ 停止ボタンを押す。

応用

日付データ / カメラデータなどの表示を出す - 画面表示機能

本機で録画したテープは、再生中に録画した ときの日付・時刻を確認できます。また、 データコード機能付きのDigital8D方式の ビデオカメラレコーダーで撮影したテープで は、再生中に、撮影したときの日付・時刻や カメラデータを確認できます。

ご注意

Digital8**{}**方式以外で記録し たテープでは、データコード は表示されません。

次のときは、「---- --」

- 「--:--」を表示します。
- 無記録部分
- テープの傷やノイズなどで データコードを読み取れない
- 日付・時刻を設定しないで 録画または撮影したテープ

カメラデータとは 撮影したときのビデオカメラ の設定の情報です。



データコード機能とは

録画または撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に 画像とは別にテープに記録する機能です。

1 電源スイッチを「入」にして、テープを再生する。

2 データコードボタンを押す。

押すたびに次のように表示が変わります。

「日付データの表示」 「カメラデータの表示」 (表示なし)



カメラデータの表示を出さないようにする メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ(48ページ)。 データコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。 「日付データの表示」 (表示なし)

タイトルを入れる

本機にあらかじめ登録してある8種類のタイ トルと、自分で作ったオリジナルタイトル2 種類(27ページ)の中から選んで、タイトル を入れることができます。また、タイトルの 色やサイズ、表示位置も選べます。



タイトルを入れて録画中に メニューボタンを押してメ ニュー画面を表示している間 は、タイトルが記録されませ h.

オリジナルタイトルを入れる ときは 手順②で「□を選びます。





タイトルメニューが表示される。





2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して回を選び、 押して決定する。





応用

設定表示と表示順 3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して入れたいタイ •「色設定」 しろ↔きいろ↔むらさき トルを選び、押して決定する。 ↔あか↔みずいろ↔ タイトルが点滅する。 みどり↔あお レント - ル・ト - ブリセットタイトル ロ 4入学式 ロ 5²⁴ タイトル確認 •「サイズ設定」 ハチ式
 卒業式
 たんじょうび
 運動会 111/ ちいさい↔おおきい 一夏休み一 12文字をこえるタイトル 単式 会 発表会 夏休み には「おおきい」サイズの ん →戻る 「タイトル」で終了 設定はできません。12文 [タイトル]で終了 字をこえるとサイズ決定 後、「ちいさい」サイズに 4 色、サイズ、位置を選択する。 戻ります。 表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいとき •「位置設定」 は手順⑤にすすむ。 $1 \leftrightarrow 2 \leftrightarrow 3 \leftrightarrow 4 \leftrightarrow 5 \leftrightarrow 6$ \leftrightarrow 7 \leftrightarrow 8 \leftrightarrow 9 1 選択 / 囲決定ダイヤルを回して「色設定 または「サ 大きい数字になるほど位置 イズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。 が下になります。 選べる項目が出る。 サイズ設定で「おおきい」 サイズ 設定 サイズ 設定 ちいさい を選んだときは、9の位置 は選べません。 夏休み 百休み タイトルの選択 / 設定操作を しているときは 2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して希望の項目を選 画面に出ているタイトルは記 び、押して決定する。 録できません。 サイズ 設定 おおきい タイトル確認 再生中に 111/ 夏休み タイトルを重ねることができ ・夏休み-111 ます。ただし、テープには記 録できません。 **3** 必要なだけ**1**、2を繰り返す。 AV接続ケーブルをつないで 他機ヘダビングするとタイト 6 選択 / 囲決定ダイヤルを押して、タイトルを ルも記録することができま 表示させる。 i.I INKケーブルをつないでダ ビングする場合はタイトルは 6 録画を始める。 記録できません。

7 タイトルを消したい場面でタイトルボタンを もう一度押す。

録画の途中でタイトルを入れるとき

録画中にタイトルボタンを押し、手順2から⑤を行う。手順⑤ で選択 / 囲決定ダイヤルを押した時、タイトルが記録され る。

す。

オリジナルタイトルを入れる

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類 まで本機に記憶できます。

タイトルボタン e 選択 / 押決定ダイヤル (回して選択、押して決定) a タイトルボタンを押す。 プリセットタイトル □ マ学式 □ 卒業式 ⑦ たんじょうび ⑦ 売んの 第表会 夏休み 祝完 [タイトル]で終了 2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して「ゆを選び、 押して決定する。 タイトリル作成 ロ オリジナル1作成 オリジナル2作成 ロ マ <u>タイトル作成</u> □ オリジナル1作成 ① オリジナル2作成 ⑦ オリジナル2作成 [タイトル]で終了 [タイトル]で終了 3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して「オリジナル 1作成」または「オリジナル2作成」を選び、 押して決定する。 タイトル作成 □ オリジナル1作成 □ オリジナル2作成 □ マー戻る □ タイトル作成 あいうえお かきくけこ らりるれる あいうえお さしずせそ わをんゆよ -& ?! たちつてと がぎくげご [] なにぬねの ざじずぜそ [きごう] よみむめも ばびぶべぼ [完成] [タイトル]で終了 [タイトル]で終了

応用

[きごう]を選ぶと アルファベットや数字、漢字 などが選べる画面が出ます。 [かな]を選ぶと、元の画面 に戻ります。

文字を消すとき [←]を選びます。一番後ろの 文字が消えます。

漢字変換機能は ありません。[きごう]にあ る漢字以外をタイトルに使う ことはできません。

空白を入れたいとき [& ?!]の文字列の空 白部分を選んでください。





● 手順4、⑤を繰り返して希望のタイトルを作る。

選択 / 囲決定ダイヤルを回して[完成]を選び、押して決定する。 タイトルが記憶される。

8 タイトルボタンを押して、タイトル画面を消す。

作成したタイトルを変更する

手順³で変更したいオリジナルタイトルを選び、押して決定す る。

[←]を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

他のビデオヘダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ



次のボタンを押して画面の表 示を消してからダビングして ください。

- 画面表示ボタン - データコードボタン 消さないでダビングするとテー プに記録されてしまいます。

録画機は以下のどの方式のビ デオでも使えます。 8,**Hi** (3,VIIS),VIISC,SVIIS, SVIISC, (8,EDBeta),^{Mar} (**D**^v, **D**^v, **[**),

録画機の音声入力がひとつ (モノラル)の場合 AV接続ケーブル(付属)の黄 色いプラグを映像入力へ、白 いプラグを音声入力へつなぎ ます。(赤いプラグはどちら にもつながないでくださ い。)音声はモノラルです。

別売りのS映像ケーブルを使うと

録画画像がより忠実に再現で きます。ビデオにS(S1)映 像端子がついているときは、 AV接続ケーブルの黄色いプ ラグ(映像)のかわりに別売 りのS映像ケーブルで、本機 のS1映像出力端子とビデオ のS(S1)映像端子を接続す ることをおすすめします。

カセットを準備する。

本 機:電源を準備して、録画済みのカセットを入れる。 録画機:ダビングしたいカセットを入れる。

録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチを「外部入力(ライン)」にする。 詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源スイッチを「入」にする。

4 本機で再生する。



5 録画機で録画をはじめる。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら 録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

29

次のページへつづく

編

隹

i.LINKケーブルでつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル(別売り)でつなぎダビング・編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。 画面表示はダビングできません。



Digital8♪方式以外で記録し たテープでは 画像が乱れることがあります が、故障ではありません。

Hi8/スタンダード8ミリ方式で 記録されたテープを再生中は DV入力 / 出力端子からの映 像信号はデジタル信号が出力 されます。

i.LINKケーブルで本機と接続 できるのは1台だけです i.LINKについて詳しくは、 56ページをご覧ください。

「ピクチャーエフェクト」「デジ タルエフェクト」「再生ズーム」 を加えた画像は ↓DV入力 / 出力端子からは出 力されません。

再生─時停止にしている画像は **【**DV入力 / 出力端子を使って ダビングすると粗い画像にな ります。 また、他機で再生したとき画 像がぶれることがあります。 カセットを準備する。
 本 機:電源を準備して、録画済みのカセットを入れる。
 録画機:ダビングしたいカセットを入れる。

2 録画機の準備をする。 入力切り換えスイッチがある場合は、「DV入力」にする。 詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源スイッチを「入」にする。

4 本機で再生する。

5 録画機で録画をはじめる。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

30

必要な場面を選びダビングする

- デジタルプログラムエディット

録画済みのテープから必要な場面(プログラ ム)を選び、お好みの順番でつなぎ合わせ、 録画機を操作せずに別のテープに簡単にダビ ングできます。 場面はフレーム単位で選べます。 最大20プログラムまで設定できます。



ご注意

- Digital8分方式以外で記録 したテープでは、デジタル プログラムエディットはで きません。
- i.LINKケーブルで接続した とき、録画機の機種により 正しく操作できない場合が あります。本機の「コント ロール選択」を「リモコン」 に設定してください。
- デジタルプログラムエ ディットの操作信号は、
 LANC端子では送信できません。
- 設定を画面表示で確認する ときは、SUPER LASER AVLINKを使って本機をテ レビやモニターとつなげて ください。

i.LINKケーブルでつなぐと デジタルで信号のやりとりを するので、画質、音質の劣化 がほとんどありません。 デジタルプログラムエディットには、次の準備が必要で す

- 準備1:録画機をつなぐ(31ページ)
- 準備2:録画機を操作するための設定をする

- AV接続ケーブルでつなぐ(32ページ)

- i.LINKケーブルでつなぐ(35ページ)

準備3:録画機のタイミングを補正する(36ページ)

上記の準備を一度行なった録画機を使用する場合は準備2、3は 不要です

操作は以下の順で行ないます

操作1: プログラムを作る(38ページ) 操作2: プログラムを実行する(ダビングする)(41ページ)

準備1録画機をつなぐ

AV接続ケーブル、i.LINKケーブルどちらでも接続できます。 AV接続ケーブルの場合は29ページ、i.LINKケーブルの場合は 30ページの図のように接続します。 編集

準備2 録画機を操作するための設定をする ーAV接続ケーブルでつなぐ

AV接続ケーブルで接続したときは、本機の赤外線発光部から録画 機のリモコン受光部に録画機を操作するための信号を送ります。 正しく信号を送るために以下の設定(① ~ ④)を行ってください。



- 1 リモコンコードを設定する
 - 1 本機の電源スイッチを「入」にする。
 - 録画機の電源を入れ、入力切換を選ぶ。
 録画機がビデオカメラレコーダーのときは、電源 スイッチを「ビデオ」にする。
 - **3** メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
 - 4 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、 配を選び、 押して決定する。

その他 VTR 樹差補正 図 おしらせブザー 合 リモコン ETC プログラムエディット マ スティット設定 マ 戻る	0 時間
[メニュー]で終了	

5 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。



リモコンコードについて 本機には、下記のリモコン コードが記憶されています。 お使いの録画機のリモコン コードを設定してください。 お買い上げ時、本機は「3」に 設定されています。 メーカー リモコンコード 1、2、3、4、 ソニー 5、6 47、54、55、 アイワ 57、60、64 キヤノン 97 コルディナ 34 富十诵 34 フナイ 61,80 ゴールドスター 47 日立 43、47、56、 75 ビクター 12、13、14、 21 マルマン 26 22、27、28、 三菱 29 NEC 35、65、66、 67 オリオン 69,72 松下 16, 18, 19, 78、79、96 フィリップス 83 パイオニア 31 三洋 36、38、46 シャープ 88, 89, 90, 98 東芝 39, 40, 68 ユピテル 47

リモコンコードが対応してい ない機種は、デジタルプログ ラムエディットはできませ ん。

- 6 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。
- 7 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「リモコン」を選び、押して決定する。

8 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「リモコンコー

ド」を選び、押して決定する。



9 選択/囲決定ダイヤルを回して、録画機の リモコンコード(番号)を選び、押して決定する。 「リモコンコードについて」を参照する。

その他 VTR エディット設定 図 コントロール選択	
 ● タイミング補正 ● マイミング補正 ● ここから "補正 ● フロシント ● 「サヨンコード」 ● 「時小川線をード」 リモコンテスト 	2
€→戻る [メニュー]で終了	

2 録画機の録画一時停止解除モードを設定する

 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「一時停止解除 モード」選び、押して決定する。

|--|

編

録画一時停止解除モードにつ いて お使いの録画機で録画一時停 止を解除し、録画を始めると きに押すボタンを下記よりお 選びください。(ボタンの種 類は録画機により異なりま す。) それぞれのボタンに合った録 画一時停止解除モードを設定 してください。 録画機の 録画一時停止 ボタン 解除モード ■(一時停止)「一時停止」 ●(録画) 「録画」 ▶(再生) 「再生」

2 選択 / 押決定ダイヤルを回して、録画機の録画一時停止解除モードを選び、押して決定する。



3 再生機と録画機の向きを合わせる

本機の赤外線発光部と録画機のリモコン受光部を向かい 合わせる。

機器の距離は約30cm以上離し、間に障害物等がない状態にする。



- 4 録画機が正しく動くか確認する
 - 1 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。
 - 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「リモコンテスト」を選び、押して決定する。

3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、 押して決定する。

録画機が録画を開始すれば、正しく設定されている。

終了すると画面表示は「完了」に変わる。

その他 VTR エディット設定
□□ コントロール選択
白 タイミング補正
ETC 4 "ここから "補正
ここまで "補正
リモコンコード
一時停止解除モード
リモコンテスト 完了
→戻る
「メニュー1で終了

録画機が正しく動作したら

36ページの準備3へ進む。

録画機が正しく動作しないとき

- 「リモコンコードについて」のコードをご覧の上、「リモコン コード」または「録画一時停止解除モード」を設定し直す。
- 本機と録画機を約30cm以上離す。
- 録画機の取扱説明書をご確認ください。

準備2 録画機を操作するための設定をする ーi.LINKケーブルでつなぐ

i.LINKケーブルで接続したときはこの設定を行ないます。





1 本機の電源スイッチを「入」にする。

ご注意

i.LINKケーブルでつなぐと タイトル・画面表示はダビン グできません。 編集



- メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- ④ 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、 EECを選び、押して決定する。

5 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。

<u>∎</u>• リチコンコー 停止館除モード

 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「コント ロール選択」を選び、押して決定する。

7 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「i.LINK」 を選び、押して決定する。



ご注意

- タイミング補正用の画像が 約50秒間録画されます。
- テープの頭から記録する と、始めの部分が切れるこ とがあります。10秒ほど テープを送ってから記録し てください。

準備3 録画機のタイミングを補正する

筆記具をご用意ください。

本機の動作と録画機の動作のタイミングの誤差を補正します。 本機のテープを取り出しておいてください。

録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

「コントロール選択」で「i.LINK」を選んだときは不要です。
•

2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「タイミン グ補正」を選び、押して決定する。



ご注意

i.LINKケーブル接続で録画機 の操作がうまく行なえないと きは、接続はそのままで、 35ページの準備2からやり直 してください。映像 / 音声は デジタル信号で送られます。 3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

録画機にタイミング補正用のカウンターが5回分入った 画像が録画される。

終了すると画面表示は「実行中」の点滅から「完了」の点 灯に変わる。





5「ここから」の5回分の数値と「ここまで」の5回分の数値それぞれの平均値を計算する。



選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「ここから」 の平均値の数値を選び、押して決定する。 録画開始のタイミングが補正される。 編集

37

必要な場面を選びダビングする - デジタルプログラムエディット(つづき)



3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「ここまで」
 の平均値の数値を選び、押して決定する。
 録画停止のタイミングが補正される。

ご注意

- メニューで「再生モード」 を「▶IIB/B」にしたと
 デジタルプログラムエ ディットはできません。
- デジタルプログラムエ ディット操作中は録画する ことができません。

テープの次の部分には、「こ こから」「ここまで」の設定は できません。

- 無記録部分

次の場合、タイムコードが正 しく表示されません。

- Digital8【)方式以外で記録
 したテープ。
- 「ここから」と「ここまで」の間に無記録部分があるとき。

操作1 プログラムをつくる

 本機に再生するカセットを入れ、録画機に録 画するカセットを入れる。

2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、EECを選び、押して決定する。

④ 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「プログラ ムエディット」を選び、押して決定する。

プログラムエディット **日** 0:32:30:14 マークとりけし 全消去 スタート -91L 0:00:00:00

5 ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分 の始めを探し、再生一時停止にする (8ページ)

6 選択 / 囲決定ダイヤルを押す。

最初のプログラム「ここから」が設定され、最初のプロ グラムマークの上側が水色に変わる。



ア ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分。 の終わりを探し、再生一時停止にする。

編集



8 選択 / 囲決定ダイヤルを押す。

最初のプログラム「ここまで」が設定され、最初のプロ グラムマークの下側が水色に変わる。





る。

プログラムが設定されると、プログラムマークが水色に 変わる。

最大20プログラムまで設定できます。

プログラムエディット マークとりけし 全消去 スタート **B ►II** 0:10:01:23 **4** ここから ここから トータル 0:00:47:12



一度設定したプログラムを消す

最後に設定したプログラムの「ここまで」、「ここから」の順で 消去していきます。

- 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「マークとりけし」を選び、押して決定する。
- 2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。 最後に設定したプログラムマークが点滅し、設定が取り 消されます。

消去を中止する

手順の❷で「戻る」を選び、押して決定する。

プログラムの全消去

- メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選ぶ。
- 2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「全消去」を 選び、押して決定する。
- 3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。 設定したプログラムマークすべてが点滅し、設定が取り 消されます。

全消去を中止する

手順の❸で「戻る」を選び、押して決定する。

プログラムを中止する

メニューボタンを押す。

設定したプログラムはテープを取り出さないかぎり記憶されま す。 以下の場合には、録画機で録 画できません。

- カセットが入っていない。
- テープが終わりになっている。
- テープが誤消去防止状態に なっている。
- リモコンコードが合ってい ない。(「リモコン」に設定 したとき)
- 録画一時停止解除モードが まちがっている。(「リモコ ン」に設定したとき)

以下の場合には、「実行でき ません」と表示され、ダビン グできません。

- プログラムが未設定
- i.LINKケーブルを接続して いない。(「i.LINK」に設定 したとき)
- 接続している録画機の電源 が入っていない。

操作2 プログラムを実行する(ダビングする)

機器の接続と録画機が録画一時停止状態であることを確認す る。(i.LINKケーブルで接続したときは不要です。) 録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源ス イッチを「ビデオ」にする。

メニューでEECの項目の「プログラムエディット」を選ぶ。

2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「スタート」 を選び、押して決定する。

3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。 最初のプログラムの始まりをサーチし、ダビングを開始する。このとき、実行中のプログラムマークが点滅する。 画面表示は、サーチ中は「サーチ中」、録画中は「エディット中」が表示される。 ダビングの終了したプログラムはプログラムマークが水 色に変わる。 ダビングが終わると本機も録画機も自動的に停止する。

エディット中にダビングを中止する

ビデオ操作ボタンの■停止ボタンを押す。

デジタルプログラムエディットを終了する

ダビングが終了すると本機は停止し、画面は「プログラムエ ディット」の設定画面に戻る。

メニューボタンを押し、表示を消す。

編集

アナログ機器とパソコンをつなげて使う - デジタル変換機能

アナログビデオ機器に録画した映像、音声を 本機を通して、i.LINK端子を持つパソコン に接続して取り込めます。



ご注意

- ビデオ信号の取り込みがで きるソフトウェアがパソコ ン側にインストールされて いる必要があります。
- 本機に入力される映像信号の状態によっては、本機からのDV出力をパソコンに入力した場合、正しい映像を出力することができないことがあります。
- 著作権保護の為の信号 (ID-2方式など)が記録されているソフトを再生して本機に入力し、本機から出力された信号を録画したり、パソコンで取り込むことはできません。

アナログビデオ機器の映像・音声をパソコンに取 り込む

- 本機の電源スイッチを「入」にする。
- 2 メニューで[™]の項目の「A/V入力→DV出力」 を「入」にする(47ページ)。
- 3 アナログビデオ機器で再生を始める。

イソコンで取り込みを始める。 取り込む操作は、お使いになるパソコンのソフトウェア によって異なります。お使いになるソフトウェアの取扱 説明書をご覧ください。

取り込みが終わったら

パソコンで取り込み動作を停止し、アナログビデオ機器の再生 を停止する。

録画したテープに新しく画像を挿入する

録画済みテープの指定した部分に、他のビデ オからの映像・音声を挿入(インサート編 集)できます。 13ページまたは14ページの接続と準備を し、挿入したい部分の入ったテープを他機に 入れておきます。

ソニーのデジタルビデオカメラレコーダーに 付属のリモコンで操作できます。



ご注意

- Digital8
)方式以外で記録 したテープでは、ゼロセッ トメモリーはできません。
- 新しく挿入された部分の編 集前の映像と音声は消えま す。

新しく挿入された部分を再生 すると 終了点の画像や音声が乱れる ことがありますが、故障では ありません。



本機の電源スイッチを「入」にする。

終了点を設定せずに録画する ときは 手順③、④をとばします。 終了したいところで■停止ボ タンを押します。

- 2 他機(再生側)で、挿入したい部分(a)の少し前で、再生一時停止状態にする。
- 本機で、挿入部分の終了点(c)を探し、再生
 一時停止状態にする。



「ゼロセットメモリー」表示が点滅し、挿入部分の終了点 が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。



本機で、挿入部分の開始点(b)を探し、録画
 一時停止状態にする。

●録画ボタンを2つ同時に押す。

● 他機(再生側)の一時停止ボタンを先に押し、 数秒後に本機のⅡ一時停止ボタンを押す。 本機の挿入部分に、新たに他機(再生側)の映像と音声が 記録され始める。 テーブカウンター値が「0:00:00」の付近(c)で、本機 は自動的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除され る。

終了点の位置を変える

手順⑤の後でゼロセットメモリーボタンをもう一度押し、「ゼ ロセットメモリー」表示を消して、手順⑤からやり直す。

メニューでお買い上げ時の設定を変える

画面上のメニュー項目を、選択 / 囲決定ダイヤ ルで選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部 変更することができます。 次の順で選択します。 メニュー画面→アイコン→項目→設定内容







④ 選択 / 囲決定ダイヤルを回して設定を切り換 え、押して決定する。





必要なだけ手順2~4を繰り返す。

手順②に戻るには、選択 / 囲決定ダイヤルを回して 「→戻る」を選び、押して決定する。

詳しくは「各設定項目の説明」(47ページ)をご覧ください。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明 お買い上げ時は、下表の 印側に設定されています。

アイコン / 項目	設定	設定の意味(参照ページ)
VTR ピクチャー	切	画像に特殊効果をかけない。
エフェクト	ネガアート	画像を写真のネガフィルムのようにする。
	セピア	画像を古い写真のような色合いにする。
	モノトーン	画像を白黒にする。
	ソラリ	画像を明暗をはっきりさせたイラストのようにする。
バイリンガル	切	ステレオ音声または主+副音声で再生する。(55ページ)
	メイン	左音声または主音声で再生する。
	サブ	右音声または副音声で再生する。
TBC*	λ	ジッター(再生時の画像の横ユレ)を低減する。
	切	画像の乱れ補正が働かない。
		(タヒンク等を練り返したり、ケーム機の信号などを記録した テープを再生するとき)
TBCとは Time	א-א שעקא Base Corrector ס ו	リーノを母主するとさり 格です。
DNR*	λ	
	切	動きの激しい画像のとき残像を目立たなくする。
デジタル	ノイズ リダクション	
DNRとは Digita	I Noise Reduction	の略です。
音声ミックス		音声モードST1↔ST2間のバランスを調節する。
		ST1 ST2
再生モード	オート	再生テープを自動判別(Hi8/スタンダード8ミリ方式または Digital8【)方式)して、再生する。
	Fii 8 / 8	自動判別できないHi8/スタンダード8ミリ方式で記録されたテー プを、再生する。
A/V入力 →	切	本機を通してデジタル画像をアナログ出力する。
DV出力	λ	本機を通してアナログ画像をデジタル出力する。(42ページ)

*Hi8/スタンダード8ミリ方式での再生時のみ

音声ミックスは

- 16ビットモードで記録された テープのバランスを調節する ことはできません。
- Digital8()方式以外で記録し たテープのバランスを調節す ることはできません。
- 再生モードは 次のときお買い上げ時の設定に 戻ります。 - 電源をはずしたとき

 - 電源スイッチを切ったとき

メニューでお買い上げ時の設定を変える(つづき)

アイコン / 項	目	設定	設定の意味(参照ページ)
💿 録画モー	۲	SP	
		LP	SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。
音声モー	ド*	12BIT	12ビットモード(2つのステレオ音声)の記録、再生ができる。
		16BIT	16ビットモード(高音質で1つのステレオ音声)の記録、再生が できる。
- テープ残	量表示	オート	以下のときにテープ残量を表示する。 ・電源/テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。 ・ ▷ 再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。 ・ 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。
	_	λ	テープ残量を常に表示する。
データコ	- F	日付 / カメラデータ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻とカメラデータ を表示する。
		日付データ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻を表示する。

LPモードについて

- LPモードでは本機で記録したテープを本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- LPモードで記録するとき は、本機の性能を最大限に生 かすためにソニー製のテープ をおすすめします。
- テープの途中でSP / LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

スタンダード8ミリ<mark>8</mark>テープを お使いの場合

「録画モード」で「LP」を選ん でも「SP」モードで録画されま す。このとき、「HI8テープで なければLP録画できません SP録画になります」と画面に 表示されます。「LP」モードの ときはHI8**トII 13** / Digital8**F** テープをお使いください。 * 他のビデオヘダビングすると き

Digital8€う方式で記録された テープでは音声モードは選べ ませんが、Hi8/スタンダード 8ミリ方式で記録されたテー プをi.LINKケーブルで出力す るときは、音声モードを選ぶ ことができます。

アイコン / 項目	設定	設定の意味(参照ページ)
🖻 日時あわせ		日付・時刻を合わせ直す。(50ページ)
オートTVオン	切	
	λ	SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製 テレビの電源を入れる。(12ページ)
TV入力切りかえ	ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3	SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製 テレビの入力を切り換える。(12ページ)
	切	
メニュー文字	ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。
サイズ	2 ×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。
デモモード	切	デモンストレーションを表示しない。
	Л	本機の機能を一覧できる。
時差補正		時差の設定をする。 選択 / 押 決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差 に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻 る。
おしらせブザー	メロディー	電源スイッチを入れたときやメニュー操作をするとき、または 誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。
	切	
リモコン	VTR2	ソニー製ビデオカメラレコーダーのリモコンを使って本機を作 動させる。
	VTR1、3~6	ソニー製のリモコンを使って本機を作動させる。(10ページ)
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。
プログラム エディット		プログラムの作成、実行をする。(31ページ)
 エディット設定		デジタルプログラムエディットでダビングするときに、録画機 を操作するための設定とタイミング補正をする。(31ページ)
デモモードについて カセットが入った状態 できません。	電源 では操作 「バ- ス」 りま その をは	をはずして5分以上たつと イリンガル _ッ 「音声ミック はお買い上げ時の設定に戻 す。 他のメニュー項目は、電源 ずしても設定を保持しま

す。

設定を変える

日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定 されていますが、半年近く使わなかったとき などに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日 付・時刻の設定が解除されることがありま す。その場合、充電式ボタン電池を充電して から合わせ直してください(65ページ)。

日時を設定しないと メニューボタン テープのデータコードには œ 「----」「--:--」が記録さ れます。 A 選択 / 押決定ダイヤル (回して選択、押して決定) 年 時分の順で合わせます。 月 Ξ Ð メニューボタンを押す。 2 選択 / 囲決定ダイヤルを回して ■を選び、押 して決定する。 初期設定 VTR 日時あわせ 四 オートTVオン 座 オートTVオン にて メニュー文字サイン 初期設定 VTR 日時あわせ 2001 1 1 12:00:00 AM 図 オートTVオン ■ TV入力切りかえ ETC メニュー文字サイズ マ デモモード マ良る ETC メニュー文字サイズ ⊋ デモモード [メニュー]で終了 [メニュー]で終了 3 選択 / 囲決定ダイヤルを回して「日時あわせ」 を選び、押して決定する。 初期設定 VTR 日時あわせ 図 オートTVオン 全 ↓ TV入力切りかえ ETC メニュー文字サイズ マ デモモード マ戻る 初期設定 VTR 日時あわせ □□ オートTVオン 全 ▼TV人力切りかえ 2001 12:00:00 AM 年月日 メニュー文字サイズ デモモード ⊋戻る 時 分 12 00 AM [メニュー]で終了 [メニュー]で終了

真夜中、正午は 真夜中は12:00:00AM、正午 は12:00:00PMと表示しま す。

4 「年」を合わせる。

選択 / 囲決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して 決定する。

年表示は次のように変わる。

▶1995 ← ···· → 2001 ← ···· → 2079 ←



5 手順④と同様に「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。

選択 / 囲決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と 同時に押して決定する。時計が動き始める。





別売りバッテリーを使う

本機の電源には、"インフォリチウム"バッ テリー(Lシリーズ)を使用します。 それ以外のバッテリーはお使いになれませ ん。

バッテリーを取り付ける



バッテリーを取り付けた後は バッテリーをつかんで本機を 持ち運ばないでください。

バッテリー残量時間表示につい て

"インフォリチウム"バッテ リーをお使いのときは、あと 何分連続で使えるかを画面に 表示します。使用状況や環境 によっては、正しく表示され ない場合があります。パッテ リーが寿命のときはメッセー ジが出ます。電源スイッチを 「入」にしてから正しい残量 時間(分)を表示するのに約 1分かかります。 バッテリーを押しながら、カチッとロックするま で矢印の方向へずらす。

本体からはずす

バッテリー取りはずしつまみを押しながらバッテリーを矢印の方向へずらし、取りはずす。



バッテリーは充電してからお使いください。本機でバッテリーの充電ができます。



ご注意

- ACパワーアダプターのDC プラグを金属類でショート させないでください。故障 の原因になります。
- バッテリーは水にぬらさな いでください。
- バッテリーを使用せずに長期間保管するときは、一度満充電してから使い切り、涼しい場所に保管してください。

満充電になると 電源 / 充電ランプが消灯しま す。

- バッテリーを取り付ける。
- 2 ACパワーアダプターを本機のDC IN端子に つなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラ グの▲マークを右にしてつなぐ。

- 3 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。
- ④ 電源コードをコンセントにつなぐ。
- 5 電源スイッチを「切」にする。 充電が始まると、電源 / 充電ランプが点灯する。

バッテリーの充電が終わったら

ACパワーアダプターをDC IN端子から抜く。

別売りバッテリーを使う(つづき)

海外でも充電できます 詳しくは63ページをご覧く ださい。

バッテリー残量の表示時間が 充分なのに電源がすぐに切れ るときは 満充電すると正しく表示され ます。

バッテリーは 室温10 ~30 で充電する ことをおすすめします

再生時間

右の表はDigital8 分方式再 生時の時間の目安です。 Hi8/スタンダード8ミリ再生 時には、再生できる時間が 20%ほど短くなります。

InfoLITHIUM(インフォリ チウム)バッテリーとは "インフォリチウム"バッテ リーに対応した機器との間 で、バッテリーの使用状況に 関するデータ通信をする機能 を持ったリチウムイオンバッ テリーです。本機は"イン フォリチウム "バッテリー (Lシリーズ)対応です。それ 以外のバッテリーはお使いに なれません。"インフォリチ ウム "バッテリーLシリーズ には () InfoLITHIUM 🕕 マークが ついています。 InfoLITHIUM(インフォリ チウム)はソニー株式会社の 商標です。

充電時間

バッテリー	満充電時間(実用充電時間)
NP-F330	150(90)
NP-F530/CF540/F550	210(150)
NP-F730/F750	300(240)
NP-F930/F950	390(330)
NP-F960	420(360)

使い切ったバッテリーを充電したときの時間(約分)。

再生時間

バッテリー	再生時間
NP-F330	105(95)
NP-F530	175(160)
NP-CF540	205(185)
NP-F550	210(190)
NP-F730	365(325)
NP-F750	440(395)
NP-F930	575(520)
NP-F950	675(610)
NP-F960	790(710)

満充電(()内は実用充電)してからの時間(約分)。

25 で再生したときの時間の目安です。低温では使用時間が短くなります。

NP-500/510/710はお使いになれません。

Digital8(デジタルエイト)♪方式と記録・再生

Digital8(デジタルエイト ♪)方式とは

Hi8(ハイエイト)HiB/Digital8(デジタル エイト)Hテープに、デジタル記録できるよ うに開発されたビデオ方式です。

使えるカセットテープ

Hi8(ハイエイト)Hi3/Digital8(デジタル エイト)テープをおすすめします。* Digital8(デジタルエイト)分方式での録画 時間は従来のHi8/スタンダード8ミリ方式の 録画時間の半分になります(120分テープで は、SPモードで60分)。

* スタンダード8ミリBテープにも録画でき ますが、本機で再生することをおすすめし ます。本機以外(他のGV-D200を含む) での再生時にモザイク状のノイズが現れる ことがあります。

再生方式

Digital8(デジタルエイト 分方式とHi8/ス タンダード8ミリ(アナログ)方式を自動判 別して再生します。

Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録された テープを再生中、↓DV入力/出力端子から、 映像信号はデジタル信号が出力されます。

著作権信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のた めの信号が記録されている場合には、他機を つないで本機の画像を記録するとき、記録が 制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカ セットは本機で録画することはできません。 このようなカセットを録画しようとすると画 面に「ダビングプロテクトされています 録 画できません」の表示が現れます。なお、ビ デオカメラで撮影した画像には、著作権保護 のための信号は記録されません。

ご注意

- Digital8(デジタルエイト))方式で記録された テープは、Hi8/スタンダード8ミリ(アナログ) 方式のビデオ機器では再生できません。
- Hi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方式のRC タイムコードとデータコードの画面表示はでき ません。
- 他のビデオデッキでPCM録音やアフレコした音 声は、本機では再生できません。

8は商標です。
 ▶■118日
 ●■118日
 ●■118日</l

音声多重記録テープを再生するとき

Digital8(デジタルエイト ♪方式で記録されたテープのとき DV方式で記録された音声多重記録テープを、Digital8(デジタルエイト♪う方式テー プにデジタルダビングし、再生するときは、 下の表のように必要に応じてメニューの「バ イリンガル」を設定してください(47ペー ジ)。

メニューの	再生される音声		
の設定	ステレオを記 録したテープ	二重音声を記 録したテープ	
「切」にする	ステレオ音声	主音声 + 副音声	
「メイン」にする	左音声	主音声	
「サブ」にする	右音声	副音声	

Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録され たテープのとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声を記録 したテープを再生するときは、下の表のよう に必要に応じてメニューの「バイリンガル」 を設定してください。

メニューの	再生される音声		
の設定	ステレオを記 録したテープ	二重音声を記 録したテープ	
「切」にする	ステレオ音声	主音声 + 副音声	
「メイン」にする	モノラル音声	主音声	
「サブ」にする	不自然な音声 になります	副音声	

本機では二重音声は記録できません。

自動判別中の表示

Digital8(デジタルエイト ♪う式とHi8/スタン ダード8ミリ(アナログ)方式を判別し、自動で再 生方式を切り換えます。このとき画面が青画面に なり下記の表示が出ます。また「ザー」とノイズ音 が出ることがあります。

 トii B/B: Digital8(デジタルエイト) 分方式 からHi8/スタンダード8ミリ方式に切り換え中
 トii B/B わ:Hi8/スタンダード8ミリ方式から Digital8(デジタルエイト) 分方式に切り換え中 そ

ற்

佌

i.LINK(アイリンク)について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV入力 /出力端子です。ここでは、i.LINKの規格 や特長について説明します。

i.LINKとは?

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジ タル映像やデジタル音声などのデータを双 方向でやりとりしたり、他機をコントロー ルしたりするためのデジタルシリアルイン ターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接 続できます。多彩なデジタルAV機器を接続 して、操作やデータのやりとりができるこ とが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直 接つないだ機器だけでなく、他の機器を介 してつながれている機器に対しても、操作 やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっ ては、操作のしかたが異なったり、接続し ても操作やデータのやりとりができない場 合があります。

ご注意

i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は 通常1台だけです。複数接続できるDV対応 機器と接続するときは、接続する機器の取 扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみ やすい呼称としてソニーが提案し、国内外 多数の企業からご賛同いただいている商標 です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準 化された国際標準規格です。 i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によっ て違い、以下の3種類があります。 S100(最大転送速度約100Mbps*) S200(最大転送速度約200Mbps) S400(最大転送速度約400Mbps) 転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によっては i.LINK端子周辺に表記されています。 本機のように特に転送速度の記載がされてい ない機器の最大転送速度は「S100」です。 最大データ転送速度が異なる機器と接続した場 合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは?

「Megabits per second」の略で「メガビー ビーエス」と読みます。1秒間に通信できるデー タの容量を示しています。100Mbpsならば 100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングす る方法については30ページをご覧ください。 また、本機はビデオ機器以外のソニー製 i.LINK(DV)対応機器(パーソナルコン ピュータVAIOシリーズなど)とも接続して ご使用になれます。

接続の際のご注意および、本機に対応したア プリケーションソフトの有無などについて は、接続する機器の取扱説明書を合わせてご 覧ください。

ご注意

i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続 する場合は、あらかじめ機器の電源を切って 電源プラグをコンセントから抜いた状態で、 i.LINKケーブルを抜き差ししてください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。4ピン 4ピン(DVダビング時)

i.LINK、 **i**は商標です。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検して みましょう。それでも正常に動作しないとき は、テクニカルインフォメーションセンター にお問い合わせください。

画面に「C:□□:□□」のような表示が出たと きは、自己診断表示機能が働いています。 60ページをご覧ください。

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを 「入」にしても動作しない	 ACパワーアダプターのプラグが コンセントからはずれている。 	・コンセントに差し込 む。	5
	 バッテリーが消耗している / 入っていない / 消耗が近い。 	 充電されたバッテリー を取り付ける。 	52, 53
再生できない	 電源スイッチが「入」になって いない。 	・「入」にする。	7
	• テープが終わりになっている。	• テープを巻き戻す。	8
ノイズが多かったり、 映らなかったりする	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカ セットできれいにする。	64
音声が小さい または聞こえない	 ・メニューの「パイリンガル」を 「サブ」にしてステレオで記録 されたテープを再生している。 	•「バイリンガル」を 「切」にする。	9, 47
	 ・メニューの「音声ミックス」が 「ST2」側になっている。 	• 音声ミックスを調節す る。	47
日付サーチが誤動作する	テープの途中に無記録部分がある。		21
Digital8┠)方式で記録 された部分の画像が 映らない	メニューの「再生モード」が 「 ┣╽囚/団 」になっている。	「再生モード」を「オー ト」にする。	47
		メニューの「再生モード」 を「 ▶╽ ⑬ ノ⑮」にする。	47

故障かな?と思ったら(つづき)

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
録画できない	 電源スイッチが「入」になって いない。 	・「入」にする。	13
	・ テープが終わりになっている。	 巻き戻すか、新しい テープを入れる。 	6、8
	• カセットが誤消去防止状態に なっている。	 そのテープで録画する なら誤消去防止ツマミ を元に戻す。または新 しいテープを入れる。 	6
	 テープがヘッドドラムに貼りつ いている(結露)。 	 カセットを取り出し て、約1時間してから もう一度入れ直す。 	64
LPモードで録画できない	スタンダード8ミリテープを使っ ている。	Hi8 ▶li ⑬ /Digital8 ŀ}テー プを使う。	48
カセットが取り出せ ない	・電源(バッテリーやACパワー アダプター)がはずれている。	 電源をきちんと接続する。 	5、52
	• バッテリーが消耗している。	 充電されたバッテリー を取り付ける。 	52, 53
■や ≜ が点滅し、 カセットの取り出し スイッチ以外働かない	結露している。	カセットを取り出して、 約1時間してからもうー 度入れ直す。	64
電源が入っているの に操作できない		ACパワーアダブターまた はパッテリーを取りはず し、約1分後再びACパ ワーアダブターまたは バッテリーを取り付け電 源を入れる。それでも操 作できないときは本体底 面のRESET(リセット) ボタンを先のとがったも ので押す。(この操作をす ると日時を含めすべての 設定が解除されます。)	5、70
バッテリーの消耗が 早い	• 周囲の温度が極端に低い。		
-+ v i	• 充電が不充分。	 満充電する。 	53
	• バッテリーそのものの寿命。	 新しいバッテリーに交 換する。 	52

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
本体に取り付けたバッテ リーを充電できない	本機の電源スイッチが「切」に なっていない。	電源スイッチを「切」に する。	53
バッテリー充電中に充電ラ ンプが点滅する	バッテリーが故障している。	テクニカルインフォメー ションセンターにお問い 合わせください。	-
おしらせブザーが5秒間鳴 りつづける	• 結露している。	 カセットを取り出し て、約1時間してから もう一度入れ直す。 	64
	• 本機に異常が発生している。	 カセットを入れ直し、 再度操作し直す。 	-
ダビング編集中、i.LINK ケーブルを正しく接続して いるのにモニターに画像が 出ない		i.LINKケーブルを一度ぬ いてからもう一度接続し 直す。	30
デジタルプログラム エディットが働かない	•録画機側の入力切換ができていない。	 接続を確認して録画機 側の入力切換スイッチ を設定し直す。 	32
	・ソニー以外のDV機器と接続し ている。	・ 操作を「リモコン」に する。	32
	 ・ 無記録部分にプログラム設定し ようとしている。 	 録画された部分に設定 し直す。 	38
	 本機と録画機の録画のタイミン グが合わない。 	• タイミング補正をす る。	36
	・ リモコンコードが違う。	 正しいリモコンコード を設定する。 	33
	・ メニューの「再生モード」が 「 Hi ⑬/⑬ 」になっている。	•「再生モード」を「オー ト」にする。	47
リモコンが働かない	 リモコンコードが合っていない。または「切」にしている。 	 リモコンに合わせてメ ニューの「リモコン」 の設定を変える。 	10、49
	 リモコンと本体のリモコン受光 部の間に障害物がある。 	・ 障害物を取り除く。	
	 リモコンの乾電池の⊕極と⊖極 が、正しく入っていない。 	• ⊕極と⊝極を正しく入 れる。	-
	• 乾電池そのものの寿命。	 新しい乾電池に交換する。 	-

自己診断表示 - アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。 これは本機が正しく動作していないときに、 画面にアルファベットと数字の5桁の表示で お知らせする機能です。表示によって、本機 の状態がわかるようになっています。 詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に 合った対応をしてください。表示の末尾2桁 ()の数字は、本機の状態によって変わ ります。 画面



自己診断表示 「C: : 」: お客様自身で正常に戻せる状態 「E: : 」: テクニカルインフォメーションセン ターにお問い合わせしていただく状態

表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:	" インフォリチウム '以外のバッ テリーを使用している。	" インフォリチウム "バッテリーをご使 用ください。	52
C:21:	結露している。	カセットを取り出して、約1時間して からもう一度入れ直す。	64
C:22:	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれ いにする。	64
C:31: C:32:	お客様自身で対応できる上記以 外の状態になっている。	 カセットを入れ直し、再度操作し直す。 電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。 	-
E:61: E:62:	お客様自身で対応できない状態 になっている。	テクニカルインフォメーションセン ターにお問い合わせください。その際 は、表示の5桁すべてをお知らせくだ さい。 例:E:61:10	-

お客様自身で対応できる場合でも、二、三度繰り 返しても正常に戻らないときは、テクニカルイン フォメーションセンターにお問い合わせください。

警告表示とお知らせメッセージ

警告ランプが点滅し、画面に次のような表示 が出ます。詳しい説明は、()内のページ にあります。

警告ランプのみが点滅し、画面に警告表示が 出ないときは、テクニカルインフォメーショ ンセンターにお問い合わせください。

♪:おしらせブザー音が鳴ります。

迎く:電源/充電ランプが点滅します。

☆:警告ランプが点滅します。

☆ 迎 バッテリー残量

バッテリー残量表示について*

残量表示が←□になると画面に↩□マークが点 滅する。

* 残量時間は使用状況や環境により正しく表 示されない場合があります。



テープ残量

録画ランプ(赤)も同時に点滅します。



♪☆テープの終わり

録画ボタンを押したときのみ出ます。

テーブが 終わっています

日付・時刻の未設定(50ページ)

日付、時刻を設定してもこのメッセージが出 る場合は、内蔵の充電式ボタン電池が放電し ています。充電してください(65ページ)。

<u> 泣泣 バッテリーの寿命</u>

" インフォリチウム "バッテリーをお使いの ときのみ表示が出ます。

♪☆カセットが入っていない

録画ボタンを押したときのみ出ます。



♪☆カセット誤消去防止

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。録 画ボタンを押したときのみ出ます。



♪ ○ ダビングできない(55ページ)

著作権保護のための信号が記録されている画 像を本機で録画しようとしたとき出ます。

その

佌

〇**ヘッド汚れ(64ページ)**

クリーニングカセットできれいにする。



♪♡結露(64ページ)

テープを取り出し、カセット入れを開けたま ま約1時間放置する。



♪○自己診断表示機能が働いている (60ページ)

本機が正しく動作していないとき、自己診断 表示機能で本機の状態をお知らせしていま す。「C:□□:□□」のような表示が出たら、 60ページをご覧ください。



自己診断表示

♪☆その他の異常

電源を一度取りはずし、取りつけ直してから 再度操作し直す。それでも表示が消えないと きは、テクニカルインフォメーションセン ターにお問い合わせください。



♪☆LPモードで録画できない (48ページ)

LPモードのときはHi8**Hi**¹¹**B**/Digital8**F**)テー プをお使いください。



☆漠ᢟ インフォリチウム "バッテ リー(54ページ)

"インフォリチウム" パッテリーを つかってください

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L15A は、 全世界の電源(AC100V~240V・50/ 60Hz)でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、 電源コンセントの形状の異なる国または地域 では、電源コンセントにあった変換プラグア ダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずね の上、ご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)はご 使用にならないでください。故障の原因とな ることがあります。

海外のコンヤントの種類



再生画像を見るには、日本と同じカラーテレ ビ方式(NTSC)で、映像/音声入力端子付 きのテレビ(またはモニター)および接続 ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)を採用している国 または地域(五十音順)

• アメリカ合衆国	• ニカラグア
• エクアドル	・ハイチ
・エルサルバドル	・パナマ
• カナダ	・バミューダ
・キューバ	・バルバドス
• グアテマラ	・フィリピン
・グアム	・プエルトリコ
• コスタリカ	・ベネズエラ
・コロンビア	・ペルー
・スリナム	・サモア
・ セントルシア	• ボリビア
• 大韓民国	• ホンジュラス
• 台湾	• ミクロネシア
・チリ	・ミャンマー
• ドミニカ	・メキシコ
• トリニダードトバコ	

時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで 「「時差補正」を選べば、時差を設定するだ けで時刻を現地時間に合わせることができま す。詳しくは49ページをご覧ください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドや テープに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因 になります。結露が起こると、お知らせブザーが鳴 り、画面に下のように警告表示が出ます。



(5秒間表示)

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示 が出ている間は、カセット取出し——つまみ以外 は働きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露が なくなるまで(約1時間)放置してください。電源 を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセット を入れてビデオ操作ボタンを押しても▲が点滅し なければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかっ たり、ノイズの多い再生画像になったりします。 次のような症状になったときは、別売りの乾式ク リーニングカセットV8-25CLD/V8-25CLDRを 使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

Digital8(デジタルエイト ¥)方式での 再生 / 録画

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- 画面に「 Q ヘッドが汚れています」と「 菌クリー ニングカセットをつかってください」の表示が交 互に出る。

ビデオヘッドが汚れているときの画像





ビデオヘッドがさらに汚れると青一色の画面にな ります。

Hi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方 式での再生

- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像





このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

内蔵の充電式ボタン電池について 本機は日時や各種の設定を電源の入 / 切と関

係なく保持するために充電式ボタン電池を内 蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使 用している限り常に充電されていますが、使 う時間が短いと徐々に放電し半年近く全く使 わないと完全に放電してしまいます。充電し てからご使用ください。

ただし、充電式ボタン電池が充電されていな い場合でも、日時を記録しないのであれば本 機を使うことはできます。

充電方法

本機を付属のACパワーアダプターを使って コンセントにつなぐか、充電されたバッテ リーを取り付け、電源スイッチを「切」にし て24時間以上放置する。

結露が起こりやすいのは 次のように、温度差のある場所 へ移動したり、湿度の高い場所 で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房 の効いた場所へ持ち込んだと
- 冷房の効いた部屋や車内から 暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために 本機を温度差の激しい場所へ持 ち込むときは、ビニール袋に空 気が入らないように入れて密封 します。約1時間放置し、移動 先の温度になじんでから取り出 します。 ビデオヘッドは 長時間使用すると摩耗します。 クリーニングカセットを使って も鮮明な画像に戻らないとき は、ヘッドの摩耗が考えられま す。このときは、ヘッドの交換 が必要です。テクニカルイン フォメーションセンターにお問 い合わせください。

主な仕様

システム		SUPE
録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン	映像 / 音声
録音方式	回転2ヘッド	音声キャリ
	12ビット32kHz (ステレオ1、ス	
	テレオ2)	*EIAJ(E
	16ビット48kHz (ステレオ)	
映像信号	NTSC カラー 、EIA標準方式	電源部、
使用カセット	Hi8 (ハイエイト) /Digital8 (デ ジタルエイト) ビデオカセット テープ	電源電圧
録画 / 再生時間	SPモード: 60分(Hi8 120分 テープ使用時) LPモード: 90分(Hi8 120分 テープ使用時)	消費電力
早送り、巻き戻し時間	約5分(Hi8 120分テープ使用時)	
λ · 出力端子		
		動作温度
51映像入刀端子	4ビンミーDIN() 畑度信号・11/p.p.75 不平	保存温度
		最大外形寸
	色信号:0.286Vp-p、	
	75 不平衡	本体質量
S1映像出力端子	4 ビンミニ DIN(1) 輝度信号:1Vp-p、75 不平 衡、同期負 色信号:0.286Vp-p、 75 不平衡	付属品
映像 / 音声入力端子	AVミニジャック(1)	
	映像:1Vp-p、75 不平衡	
	音声:327mV、インピーダンス 47k 以上	
映像出力端子	ピンジャック(1) 1Vp-p、75 不平衡	
音声出力端子	ピンジャック(L、R)(2)	消費電力
	327mV(47k 負荷時)	定格出力
	インピーダンス 1k 以下	動作温度
RFU DC OUT端子	特殊ミニジャック DC5V	保存温度
DV入力 / 出力端子	i.LINK(IEEE1394.4ピンコネク ター)	外形寸法
ヘッドホン端子	- / ステレオミニジャック(Ø3.5)	(最大突起語
LANC端子	ステレオミニミニジャック	質量
	(Ø2.5)	+ + 7 の4

SUPER LASER AVLINK

映像 / 音声	IR空間伝送EIAJ*準拠
音声キャリア	L ch: 4.3MHz
	R ch: 4.8MHz

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格

、その他	
	7.2V(バッテリー端子入力)
	8.4V(DCIN端子)
	録画時 3.5W
	(Digital8 💽 方式)
	再生時 3.0W
	(Digital8 🚺 方式)
	スーパーレーザーエーブイリン
	ク使用による再生時: 4.0W
	(Digital8 🚺 方式)
	0 ~ + 40
	- 20 ~ + 60
法	148×50×135mm
	(幅×高さ×奥行き)
	約660g(テープ含まず)
	ACパワーアダプター
	AC-L15A(1)
	AV接続ケーブル(1)
	AV変換ケーブル(1)
	電源コード(1)
	取扱説明書(1)
	安全のために(1)
	保証書(1)

ACパワーアダプターAC-L15A

電源	AC100V~240V、50/60Hz
消費電力	18 W
定格出力	DC8.4V**
動作温度	0 ~+40
保存温度	- 20 ~ +60
外形寸法	約56×31×100mm
(最大突起部をのぞく)	(幅×高さ×奥行き)
質量	約190g(本体のみ)

* *その他の仕様についてはAC アダプターのラベルをご 覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更するこ とがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますの で、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取 りください。所定事項の記入および記載内容 をお確かめの上、大切に保存してください。 このデジタルビデオカセットレコーダーは国 内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生 じた場合の現地でのアフターサービスおよび その費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを 「故障かな?と思ったら」の項を参考にして 故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター(本 書の裏面参照)にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていた だきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要 望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカセットレコーダーの 補修用性能部品(製品の機能を維持するため に必要な部品)を製造打ち切り後約8年間保 有しています。この部品保有期間が経過した 後も、故障箇所によっては修理可能の場合が ありますので、テクニカルインフォメーショ ンセンターにお問い合わせください。

各部のなまえ 使いかたの説明は、()内のページにあります。





◆LANCマークについて ◆は、LANC端子のマークで す。LANC端子とは、ビデオ機 器と周辺機器を接続し、テープ 走行などをコントロールできる ようにした端子です。 パソコンの接続

- パソコンで加工したり編集した画像をi.LINKケーブルを使って本機で録画するときは新しいHi8Hit 図/Digital8F)テープをお使いください。
- Hi8スタンダード8ミリ(アナ ログ)方式で記録した画像を パソコンに取り込むときは、 一度Digital8【)方式または DV方式のビデオヘダビング し、その画像をパソコンに取 り込んでください(42ページ)。



(58ページ)

画面表示



タイムコードについて タイムコードは、テープの位置 の指定を容易にするために、 テープ上に記録される位置情報 信号です。本機では、録画時に タイムコードが自動的に記録さ れます。タイムコードを確認す るには、画面表示ボタンを押す と、モニター画面やテレビ画面 に、時:分:秒:フレームで表 示されます。タイムコードは、 テープの先頭を0:00:00:00と して、順に記録されます。ただ し、テープの途中で空き(無記 録部分)を作ると、その直後か ら0:00:00:00として記録され ます。このタイムコードは後か ら書き直すことはできません。 また、本機のタイムコードはド ロップフレーム方式です。誤差 修正のために数フレームとばし て表示することがあります。 端子カバーの取りはずしかた 別売りの専用アクセサリーを本 機に取り付けるときは、取りは ずし→ つまみを上にずらしな がら、端子カバーをはずしま す。使い終わったら、端子カ バーを取り付けてください。

ア行

インサート編集	43
" インフォリチウム "	
バッテリー	52
おしらせブザー	49
お知らせメッセージ	61
お手入れ	64
音声多重テープ	55
音声ミックス	47
音声モード	48

カ行

カセットの入れかた6	
画面表示	
カラーテレビ 方式 63	
逆方向再生 8	
警告表示61	
結露64	
高速アクセス8	

サ行

再生
再生ズーム 15
サブ(音声) 55
自己診断表示 60
時差補正
実用充電54
充電 53
充電式ボタン電池 65
主音声 55
ステレオ放送テープ 9、55
静止画
赤外線送信 12
接続(テレビで見るとき)4
(編集のとき)13
ゼロセットメモリー 20
選択 / 押決定ダイヤル

タ行

タイトル	27
ダビング編集	29
データコード	24
テープ残量表示	70
テープの終わり表示	61
デジタルエフェクト	18
デジタルプログラム	
エディット	31
デモンストレーション	49
電源 (家庭用コンセント)	5
(自動車の電源)	5
(バッテリー)	52

ナ行

二重音声記録放送		
テープ	9、	55

八行

倍速再生	8
バッテリー	52
バッテリー残量表示	52
ピクチャーエフェクト	16
ピクチャーサーチ	8
日付サーチ	21
日付・時刻合わせ	50
フォトサーチ	22
フォトスキャン	23
副音声	55
ヘッド	64
ヘッドホン端子	8
ヘッド汚れ表示	64
編集	29

マ行

満充電	53
メイン(音声)	55
メニュー	45

ラ行

リセットボタン	58
リモコン	10
録画モード	48

ワ行

ワイド TV1	1
----------------	---

アルファベット順

ACパワーアダプター	5
AFM Hi-Fi <mark>ステレオ</mark> 方式	55
AV接続ケーブル	4
AV変換ケーブル	42
DC IN端子	5
Digital8(デジタルエイト)	9
方式	55
ID-1方式	11
ID-2方式	11
i.LINK	56
LANC端子	69
NTSC方式	63
SUPER LASER	
AVLINK	12



ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/



この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC(揮発 性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

